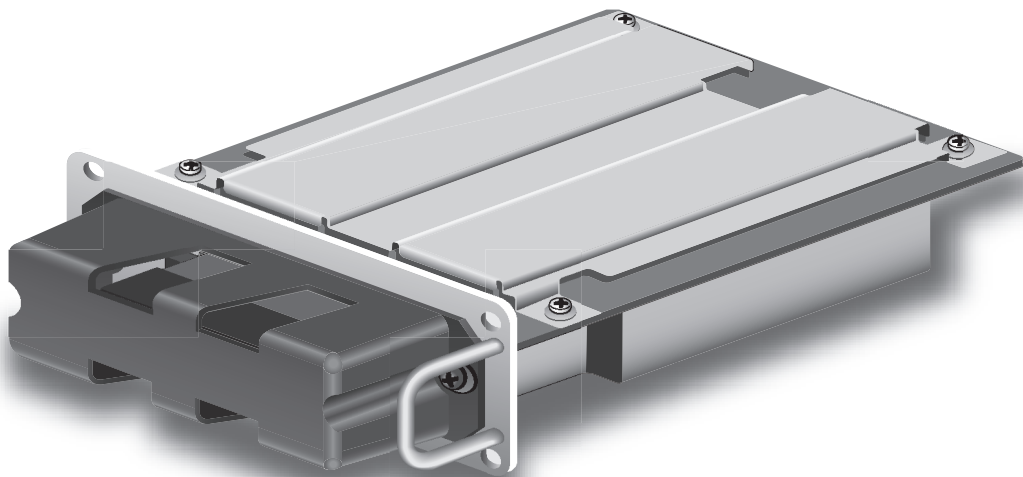


取扱説明書

ワイヤレスプレゼンテーションボード 業務用

品番 **TY-FB7WPJ**



この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

安全上のご注意	3	ワンショット	21
付属品の確認	4	オプション	21
ご使用になる前に	5	画質の選択	21
使用上の留意点	5	ライブモードの設定	22
ワイヤレスカード使用上のお願い	5	ショートカットキーの設定	22
リモコンを準備する	6	接続時にパスワードが必要なときの操作	23
各部の名前と働き	7	接続先の追加と削除	23
リモコン	7	接続先の追加	23
ワイヤレスカード	7	接続先の削除	23
ワイヤレスカードの装着・取り出し	8	WEBブラウザコントロールを使用する	24
本ボードへ付属カードの装着	8	パソコンの設定	24
パソコンへの別売りワイヤレスカードの挿入、取り出し	8	WEBブラウザコントロールの起動	24
ソフトウェアのインストール	9	トップ画面	24
必要なシステム構成	9	ディスプレイコントロール	25
Wireless Manager ME (Mobile Edition)	10	基本制御画面	25
Wireless LAN Driver	10	オプション制御画面	25
ソフトウェアのアンインストール	13	モニター情報画面	25
Wireless Manager ME	13	ネットワーク設定画面	25
Wireless LAN Driver	13	パスワード変更画面	25
ワイヤレス簡単接続 (初期設定で使用する)	14	リモコンID設定画面	25
ディスプレイの操作	14	初期設定を変更する	26
パソコンの操作	14	ネットワーク番号を変更する	26
本機とパソコンの接続を解除する	15	ワイヤレスユーザー接続	26
Wireless Manager ME を使用する	16	初期設定に戻す	29
起動	16	ボードへの操作	29
接続先選択画面の説明	16	パソコンの操作	29
ランチャーとメニューの説明	17	用語の説明	30
ライブモード	18	修理を依頼される前に	31
ライブモードを終了するには	18	商標について	31
ポインターモード	18	保証とアフターサービス	32
マルチライブモード	19		
4画面スタイルで表示	19		
インデックススタイルで表示	20		

— 以下のことをあらかじめご了承ください。 —



- ・本機の使用または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本機によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で説明しています。


 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告


本製品の取り付け、取り外し、移動の際は必ずディスプレイ本体の電源を切りコンセントから電源プラグを抜いてください

 電源プラグをコンセントに接続したまま行くと、感電・故障の原因になります。
電源プラグを抜く


煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください

 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜く

本製品を分解したり、改造しないでください

 火災・感電・動作不良の原因になります。
分解禁止

ワイヤレスカード挿入口には異物を入れない

 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
禁止

本製品の取り付け、取り外しは当社指定のサービス窓口にご依頼ください。

本製品のコネクタ部分には直接、手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊される場合があります。

また静電気は衣服や人体からも発生するため、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

安全上のご注意

必ずお守りください (つづき)

注意

電池をショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります。

電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

付属のワイヤレスカードは、本機のカードスロット以外には装着しない



禁止

機器の損傷の原因となることがあります。

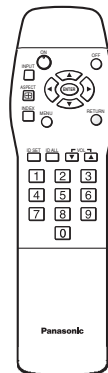
付属品の確認

端子ボード交換方法説明書



リモコン

[N2QAFB000004]



端子表示シート(1枚)



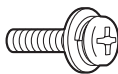
(バックカバーへの貼り付け用)

単3乾電池 × 2



ねじ × 4

(スロットカバー止めねじ)



ねじ × 2

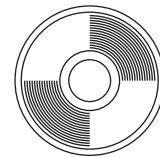
(ワイヤレスカード保護カバー止めねじ)



CD-ROM

(ワイヤレスマネージャーME・他)

[TVD01009]

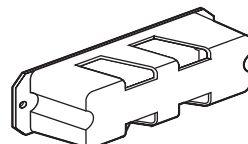


スロットカバー



(2スロットサイズの端子ボードを取り外し、本製品を取り付けた場合に、空スロットにカバーとして取り付けてください。)

ワイヤレスカード保護カバー



ワイヤレスカード



本端子ボードの装着できるPDP本体のスロット番号

37インチ	Slot1 (Slot2は装着できません)
42インチ 50インチ 65インチ	Slot1 (Slot2, Slot3は装着できません)

ご使用になる前に

使用上の留意点

本機のカードスロットについて

本機のワイヤレスカードスロットに異物など入れないでください。異物を入れたままワイヤレスカードを挿入すると、損傷の原因となることがあります。

ワイヤレスカード使用上のお願い

別売の推奨ワイヤレスカード（TW-CDWL3）は、2.4 GHz帯域の電波を使用します。ワイヤレスカードを使用する場合、無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

ワイヤレスカードについて

人体からの静電気によって、ワイヤレスカードを破損させる恐れがあるため、カードに触れる前にアルミサッシュドアのノブなど身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

他の無線機器の近くで使用しないでください。

下記の機器は、ワイヤレスカードと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでワイヤレスカードを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- ・電子レンジなど
- ・産業・科学・医療用機器など
- ・工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- ・特定小電力無線局

ワイヤレスカードの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ワイヤレスカードと違う帯域の電波を使用しておりますので、ワイヤレスカードの通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ワイヤレスカードからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、ワイヤレスカードの電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

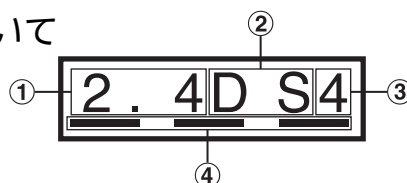
この機器の使用周波数帯は、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）で使用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が使用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先に混信回避のための処置（パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

☎ (06) 6905-5574

カード裏面ラベルの記号について



使用周波数帯域	2.4 GHz
伝送方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40 m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

ご使用になる前に (つづき)

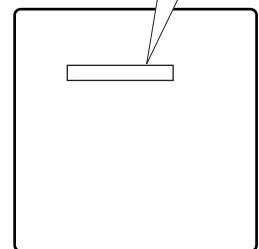
使用できるチャンネルについて

ワイヤレスカードを使用される国または地域によって使用できるチャンネル(周波数範囲)が異なります。下記の表を参照してください。

国または地域	規格	カード品番の下2桁	使用チャンネル	周波数帯域
日本	ARIB STD33 & T66	27	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz
アメリカ	FCC part 15	28	1 - 11	2,412 MHz - 2,462 MHz
台湾	DGT			
マレーシア	SIRIM			
イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、ベルギー、オーストリア、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、スイス、オランダ、フィンランド、ポルトガル、ギリシャ、タイ、韓国、オーストラリア、ニュージーランド	ETSI 300.328	29	1 - 13	2,412 MHz - 2,472 MHz

お買い上げのワイヤレスカードが、どの地域向けの商品であるかを調べるには、カード裏面ラベルの右図の位置に記載されている品番の下二桁を確認してください。

N5HBD00000[27]

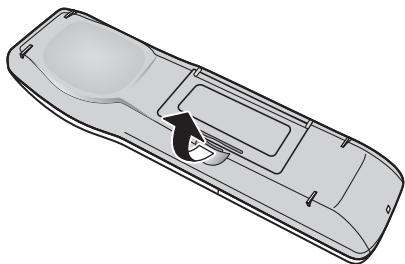


お知らせ：

指定された国以外に、ワイヤレスカードを持ち込むことはできません。もし、持ち込んで使用した場合、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

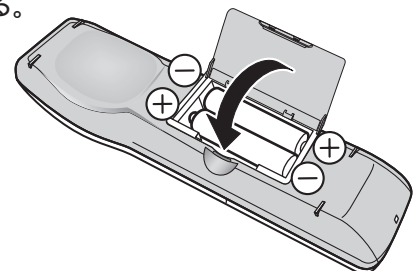
リモコンを準備する

1 電池ふたを開ける



2 乾電池を入れ、ふたを閉める

極性表示(+、-)に合わせて付属の単3乾電池を入れる。

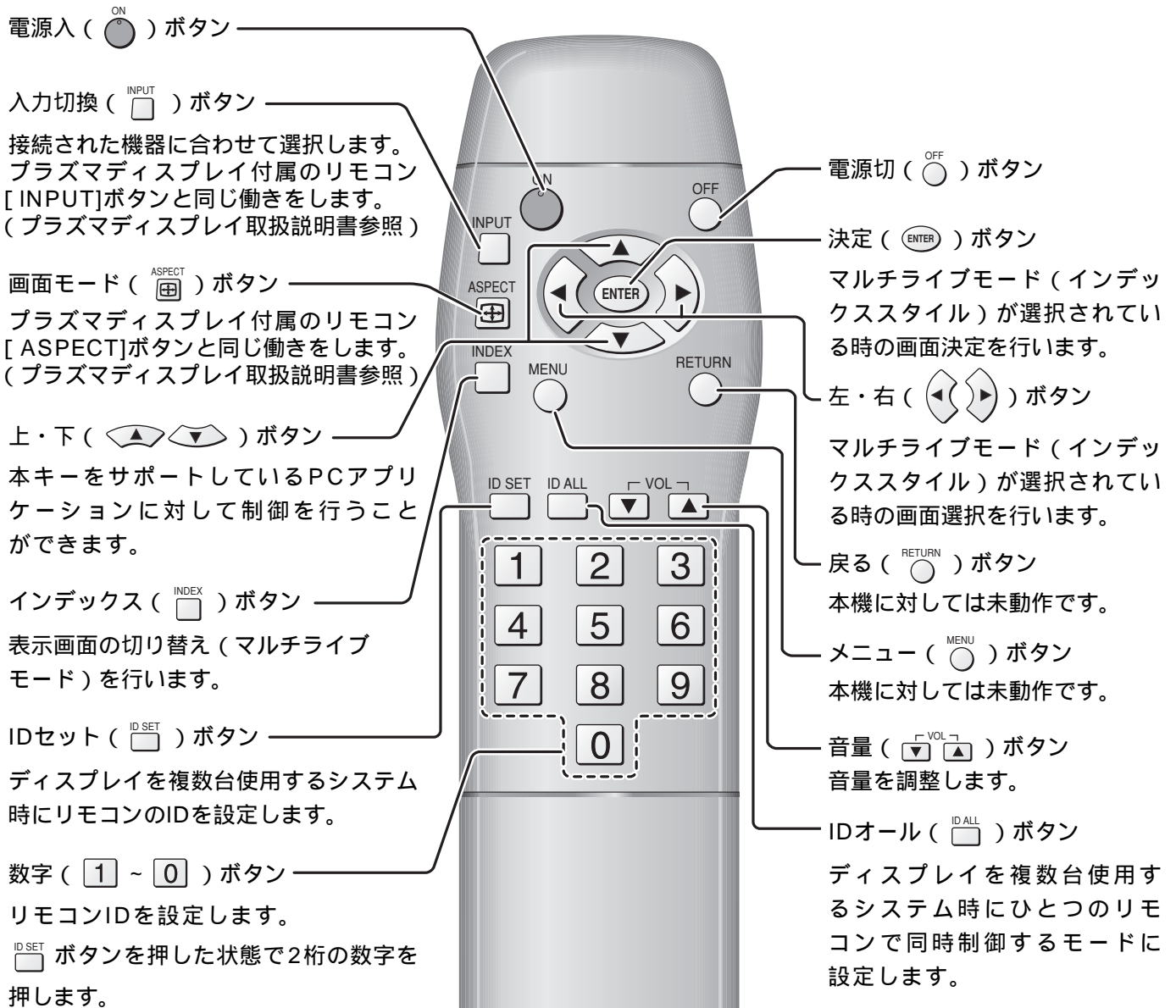


お願い：

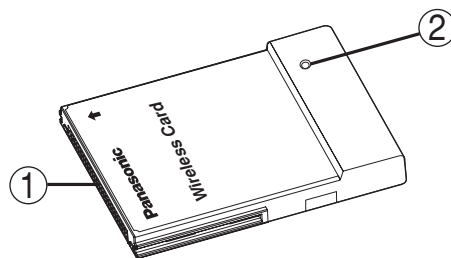
- ・リモコンを落とさないようにしてください。
- ・リモコンに液状のものをかけないでください。
- ・長時間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- ・交換用の電池は、単3乾電池をお求めください。

各部の名前と働き

リモコン



ワイヤレスカード



① コネクタ部

本機のワイヤレスカードスロットへ接続する端子です。コネクタ部を指で触れないように注意してください。

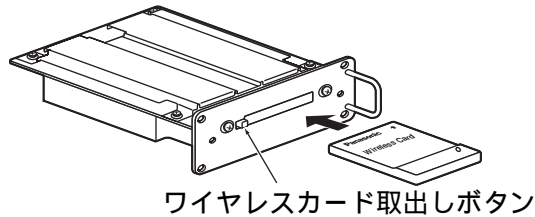
② ワイヤレスカードアクセスモニター

ワイヤレス通信時に点滅します。

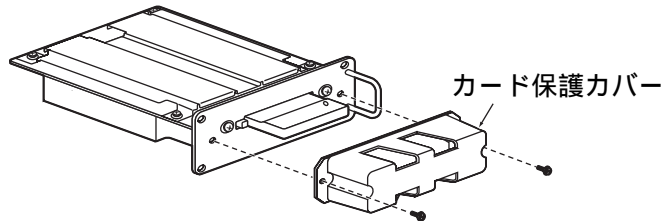
ワイヤレスカードの装着・取り出し

本機へ付属カードの装着

- 1 本機にワイヤレスカードを挿入する
(ワイヤレスカード取出しボタンが出るまでワイヤレスカードを押す)



- 2 ワイヤレスカード保護カバーをねじ2本で取付ける

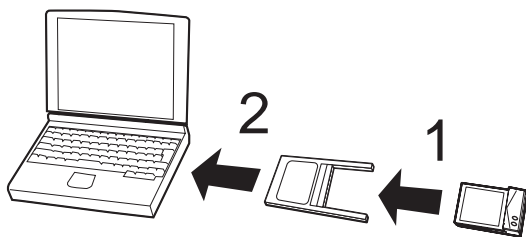


- 3 本機を本体プラズマディスプレイのロット1に装着する
端子ボード交換方法説明書を参照ください。

パソコンへの別売りワイヤレスカードの挿入、取り出し

挿入

- ・挿入前に必ず Wireless LAN Driver をインストールしておいてください。
- ・TW-CDWL3の場合の例です。他のカードの場合はカードの取扱説明書をご覧ください。
- ・パソコンの取扱説明書もよくお読みください。
- ・間違った方向でカードを無理に挿入すると故障の原因になることがあります。



- 1 カードをアダプターに取り付ける
- 2 パソコンのPCカードスロットに挿入する

取り出し

Wireless Manager ME を使用している場合は終了させてください。

- 1 画面右下のタスクバーに表示されている [PCカード] のアイコン をクリックする
[PCカード] のアイコンが表示されていない場合:
[スタート] [コントロールパネル] [PCカード] を開き、[タスクバー上にコントロールを表示する] をチェックした後、[OK] を押す。
- 2 [Panasonic Wireless LAN PC Card] を選択し、[停止] をクリックする
- 3 [OK] を押し、ワイヤレスカードを取り出す

ソフトウェアのインストール

必要なシステム構成

付属のソフトウェアを使用するには下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

OS:	Windows XP/2000/Me (Millennium Edition) /98SE (Second Edition)
CPU:	Pentium 以上もしくは互換のプロセッサ搭載 (Celeron 633 MHz以上を推奨、 ただし、ライブモード使用時は800 MHz以上を推奨)
メモリー:	64 MB以上 (Windows XP/2000 の場合は、128 MB以上)
ハードディスクの空き容量:	44 MB以上
ハード条件:	CD-ROMドライブ (ソフトウェアのインストール) PC (PCMCIA) カードスロット (TYPE またはTYPE) を内蔵 ワイヤレスカード (TW-CDWL3) が装着されており、正常に動作すること
WEBブラウザ:	Internet Explorer 6.0以上 Netscape 7.0以上

お知らせ :

上記のシステム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の動作保証は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

ソフトウェアのインストール(つづき)

Wireless Manager ME (Mobile Edition)

Wireless Manager ME :

ワイヤレスLANで、パソコンから画面をディスプレイに送るために使用します。

- ・ Wireless LAN Driverをパソコンにインストールするときは、ワイヤレスカードをパソコンに挿入する前に実行してください。

お知らせ :

- ・ Windows上で起動しているすべてのソフトを終了してください。インストールできなくなる場合があります。
- ・ Windows XP/2000 では、インストールするためにAdministratorの権限が必要です。

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的にインストールプログラムが起動し、下の画面が表示されます。



お知らせ :

自動的に起動しないときは、CD-ROM内の [EasyInstall] [Easy_Inst.exe] をダブルクリックしてください。

2 [Wireless Manager ME]をクリックする

画面の指示に従ってインストールしてください。

Wireless LAN Driver

パソコンでワイヤレスカードを使用するためには、Wireless LAN Driverのインストールが必要です。

- ・ インストール例を以下に説明します。いくつかの画面は英語で表示されます。

お願い :

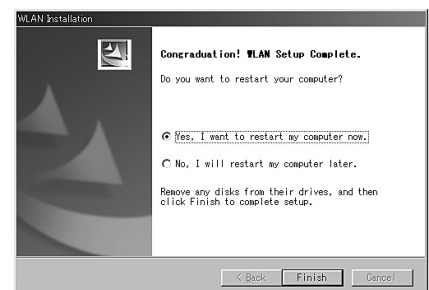
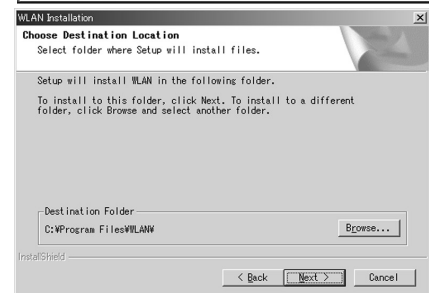
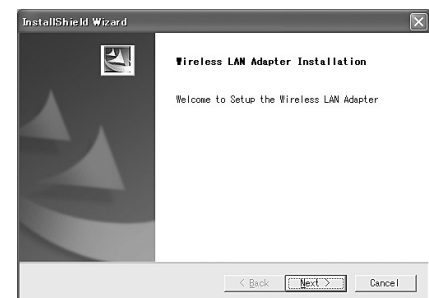
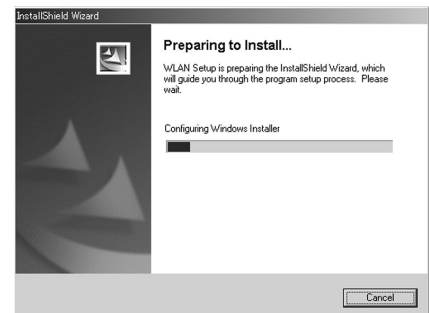
- ・ Wireless LAN Driverをパソコンにインストールするときは、ワイヤレスカードをパソコンに挿入する前に実行してください。
- ・ 誤ってドライバのインストール前にカードをパソコンに挿入した場合は、ハードウェアの自動検出により不明なデバイスとして認識されます。カードを挿入したまま以下の作業をしてからインストールしてください。
Windows XP/2000 : [コントロールパネル] [システム] [ハードウェア] [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたはPanasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する。
Windows 98SE/Me : [コントロールパネル] [システム] [デバイスマネージャ] で不明なデバイスまたはPanasonic Wireless LAN PC Card があれば削除する。

ソフトウェアのインストール(つづき)

Windows 2000/98SE/Me の場合：

装着カードがTW-CDWL3のインストールの例

- 1 10ページ「簡単インストール」初期画面で [2.Wireless LAN Driver] をクリックする
右の画面が表示されます。
- 2 ワイヤレスLANカードのモデルを選択し、
[インストール] をクリックする
インストーラが起動されます。
- 3 [Next] (次へ) をクリックする
License Agreement (使用許諾) が表示されますので、
「YES」(同意) をクリックする。
- 4 ユーティリティの保存先を指定し、 [Next] を
クリックする
ソフトウェアがダウンロードされます。
(Windows 2000の場合)
「デジタル署名が見つかりませんでした」が表示されます。
[はい] をクリックし、画面の指示に従って進めてください。
- 5 再起動要求画面が表示された場合は、 [Yes, I
want to restart my computer now.] (今から
パソコンを再起動します。) にチェックが入ってる
のを確認し、 [Finish] (完了) をクリックする
パソコンが再起動されます。
- 6 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL3) をCF
カードアダプタを介してパソコンに挿入する
(8ページ参照)
常駐アイコンが確認できればインストール完了です。 [デジタル署名
が見つかりませんでした] が表示された場合は、 [はい] をクリ
ックして続行してください。
常駐アイコンがないときは、 [スタート] [プログラム] [Wireless
Network] [Wireless Network LAN Adapter] を選択する。



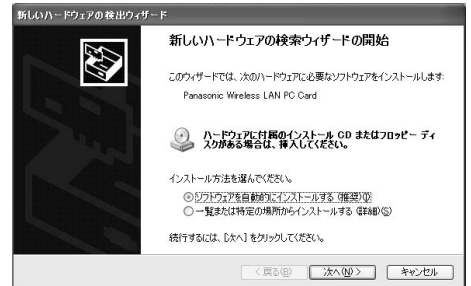
ソフトウェアのインストール(つづき)

Windows XP の場合 :

“ Windows 2000/98SE/Meの場合 ” (11ページ参照) の手順1～5を実施後、次の操作をします。

6 別売ワイヤレスカード (TW-CDWL3) を CFカードアダプタを介してパソコンに挿入する (8ページ参照)

新しいハードウェアの検出ウィザードが起動されます。



7 [ソフトウェアを自動的にインストールする] にチェックが入っているのを確認し、[次へ] をクリックする

ロゴテキストのメッセージが表示されます。

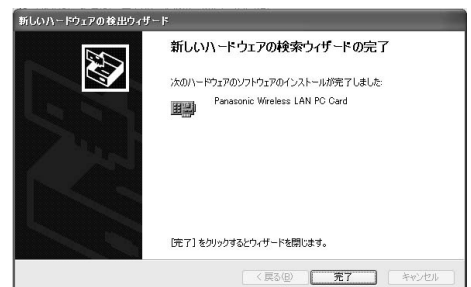
8 [続行] をクリックする

ウィザードの完了メッセージが表示されます。



9 [完了] をクリックする

ロゴ認証のメッセージが表示されます。



インストール後の確認 :

[スタート] [すべてのプログラム] [接続] [すべての接続の表示] でワイヤレスネットワーク接続のアイコンに [Panasonic Wireless LAN PC Card] が追加されていることを確認してください。

ソフトウェアのアンインストール

Wireless Manager ME

デスクトップから、[スタート] [プログラム] [Panasonic Wireless Display] [Wireless Manager mobile edition の削除]を選択する
画面の指示に従ってアンインストールしてください。

Wireless LAN Driver

Windows XP の場合

- 1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
- 2 CD-ROM内の[Wireless Card] [setup.exe]を実行する
アンインストールのソフトが起動されます。
- 3 [Remove](削除)のチェックを確認し、[Next](次へ)をクリックする
- 4 アンインストール完了のメッセージが表示されたら、
[Finish](完了)をクリックする

Windows 2000/Me/98SE の場合

- 1 [スタート] [プログラム] [Wireless Network] [Uninstalled]を実行する
- 2 [Remove](削除)のチェックを確認し、[Next](次へ)をクリックする
- 3 [Yes, I want to restart my computer now.](今からパソコンを再起動する)にチェックが入っているのを確認し、[Finish](完了)をクリックする

ワイヤレス簡単接続（初期設定で使用する）

お買い上げ時の設定のままですとボードとパソコンをワイヤレス接続する場合、付属のワイヤレスカードと別売のワイヤレスカード（TW-CDWL3）を使用してWireless Manager ME を起動するとIPアドレス、通信モードなど必要な設定が自動的に行われます。

ただし、Wireless Manager ME と Wireless LAN Driver を必ずインストールしておいてください。初期設定を変更して使用する場合は、26～28ページをご覧ください。

お知らせ：

- ・上記の別売ワイヤレスカードをお使いでない場合、Windows Me/98SEでは、簡単接続は使用できません。
- ・Windows XP/2000 でも、すべてのワイヤレスカードやパソコン内蔵のワイヤレスLANアダプタでの動作を保証するものではありません。
- ・簡単接続中は、他のネットワークアダプタが使用できないことがあります。

ディスプレイの操作

- 1 本機をディスプレイのスロット1に挿入する（端子ボード交換方法説明書参照）
プラズマディスプレイ側のカードは付属カードのみ使用できます。
- 2 ディスプレイの電源をオンにする

パソコンの操作

- 1 別売ワイヤレスカードをパソコンに挿入する（8ページ参照）
- 2 パソコンの電源をオンにする
- 3 [スタート] [プログラム] [Panasonic Wireless Display] [Wireless Manager mobile edition] を選択する
 - ・ Wireless Manager ME が起動され、下の接続先選択画面が表示されます。



- 4 接続先を選択し、[OK]をクリックする
下のランチャーが表示され、本機との接続が確立されます。



本機とパソコンとの接続を解除する

1 ランチャーの [X] をクリックする

下の画面が表示されます。



2 [はい] をクリックする

終了時にパソコンのネットワーク設定が元に戻ります。

ただし、元のネットワーク設定に戻るまで時間を要することがあります。

お知らせ：

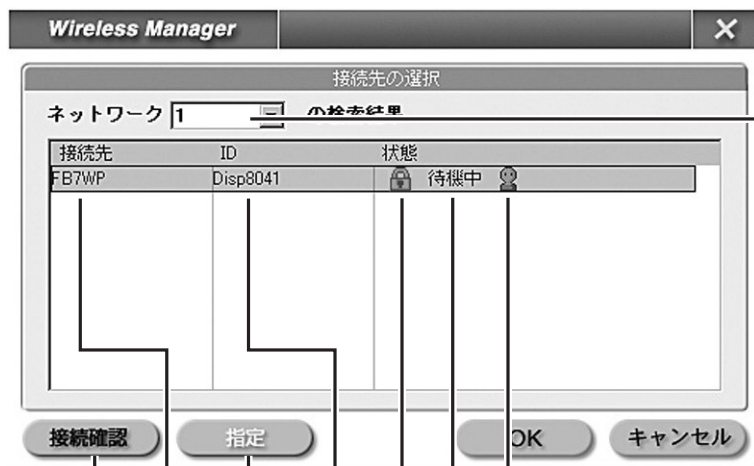
- ・本機とパソコンのネットワーク番号の初期設定値は共に「1」です。
- ・接続するためにはこの番号が合っている必要があります。
- ・ご使用のパソコンやワイヤレスカードによっては、自動設定ができないことがあります。そのとき、前頁手順3の画面の [ネットワーク] の設定は自動的に [USER] に切り替わります。このときの接続方法については、いったん Wireless Manager ME を終了させたうえで、26ページをご覧ください。

Wireless Manager ME を使用する

起動

[スタート] [プログラム] [Panasonic Wireless Display] [Wireless Manager mobile edition] を選択する

接続先選択画面の説明



接続するネットワーク番号が違う場合は、接続するネットワーク番号を選択します。この選択によってネットワーク設定が変更されます。このネットワーク番号はパソコンに記憶されますので、次の起動時はこの番号で接続されます。

本機に接続している人数を表示

本機の状態を表示

接続時にパスワードが必要なとき表示 (23ページ参照)

本機固有のID

[ネットワーク] が [USER] の場合は、接続する機器を指定できます。(23ページ参照)

本機の名前

クリックすると、該当するディスプレイの表示画面の左上にボード名が表示されます。

ただし、ディスプレイのアスペクトがズームになっている場合は、表示が画面からはみ出ます。注意してください。

お知らせ：






Windows Me/98SE では、ネットワーク番号は [1] または [USER] のみの選択となります。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

ランチャーとメニューの説明

ランチャーはパソコンの画面に常駐し、各種操作をするために使用します。
メニューはタスクトレイの[]を右クリックして表示します。

ステータス表示

-  (緑色) : 送信可能
-  (青色) : 自分が送信中
-  (黄色) : 他のユーザーが送信中
-  (赤色) : 通信不可能
-  (黒色) : 対応外のディスプレイ選択状態



ポインターモード オン/オフ

- ライブモード : パソコン画面を画面一杯に表示します。
- マルチライブモード : パソコン画面を画面の4つの領域のうちの1つに表示します。
- ワンショット : 現在のパソコン画面をディスプレイに1回のみ送信します。
- リモート制御 : WEBブラウザコントロール を起動します。
- 接続先の変更 : 選択すると接続先選択画面が表示されます。
- オプション : オプションを設定します。

お知らせ :

- ・ Windows 2000/XPでは、ランチャーはパソコンの画面のみに表示され、ディスプレイでは表示されません。
- ・ ランチャーをパソコンの画面に表示させたくない場合は、タスクトレイ に収納し タスクトレイ からメニューとして使用することもできます。
- ・ ライブ・マルチライブ・ワンショット時の転送速度
PCから転送できる解像度は、VGA、SVGA、XGAです。
上記以外の解像度でも転送可能ですが、PC側で解像度変換が行われてから転送されますので、通信速度が遅くなります。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

ライブモード

1 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する

2 ランチャーの  をクリックする

現在のパソコン画面が選択されているディスプレイに送信されます。

ライブモードは1台のパソコンでディスプレイを占有しますので、他のパソコンから操作できません。

お知らせ：

全画面ライブでのプレゼンテーションは、リモコンの[▲ ▼] ボタンがパソコンの上下キーと同等の働きをしますので、[▲ ▼] ボタンをサポートしているパソコンのアプリケーションが動作していれば、リモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能になります。

ライブモードを終了するには

ランチャーの  をクリックする。

お知らせ：

ライブ終了時に最後の画面を本機に残すか、クリアするかの設定はオプションで行うことができます。
(22ページ参照)

ポインターモード

ライブモード時、ディスプレイ表示画面に表示するポインターの形状をプレゼンテーション用に変更することができます。

ランチャーの  をクリックする

マウスカーソルの形状が、ここをクリックするたびに切り替わります。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

マルチライブモード

このモードは、4台のパソコンから1台のディスプレイに同時に画像を送信することができます。
このモードには“4画面スタイル”と“インデックススタイル”の2種類があり、リモコンの[INDEX]ボタンを押すことにより交互に切り替えることができます。

4画面スタイル




インデックススタイル



お知らせ：

- ・ディスプレイ起動時は、4画面スタイルになります。
- ・スタイル切り替え時、ライブモード中のパソコンは、ライブモードが解除されます。ライブモードを再開したい場合は、ランチャーから再度ライブモードを実行してください。

4画面スタイルで表示

- 1 ランチャーのステータス表示で送信可能（緑色点灯）であることを確認する
- 2 ランチャーの  をクリックする
- 3 表示させたい位置を選択してクリックする
4分割した画面にパソコンの画像が送信されます。



別の位置に切り替えるには

上記手順3で表示させたい別の位置を選択してクリックする。



マルチライブモードを終了するには


上記手順3でチェックの付いている位置を選択してクリックする。

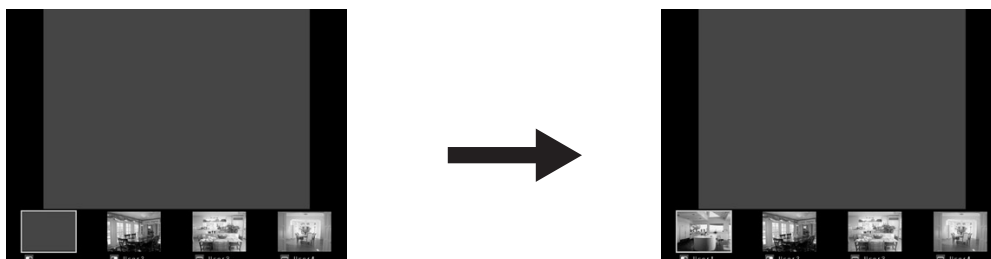
お知らせ：

4画面スタイル中は、本機に接続している全てのパソコンから本機にパソコン画面を転送することができます。
(後からのマルチライブの要求が優先されます)

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

インデックススタイルで表示

- 1 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する
- 2 ランチャーの [] をクリックする
- 3 表示させたい位置を選択してクリックする
対応するアイコンの領域に、パソコンの画像が送信されます。



拡大表示

- ・リモコンの [◀ ▶] ボタンで拡大したい画像にフォーカスを移動し、 [ENTER] ボタンを押します。
- ・画面上部に画像が拡大して表示されます。



- ・さらに続けて [ENTER] ボタンを押すと、画面全体に画像が表示されます。
- ・1つ前の画面に戻りたい場合は、再度 [ENTER] ボタンを押してください。



お知らせ :

拡大表示中は、リモコンの [▲ ▼] ボタンがパソコンの上下キーと同等の働きをしますので、 [▲ ▼] ボタンをサポートしているパソコンのアプリケーションが動作していればリモコンでプレゼンテーションの画面変更を行うことが可能となります。

その際、 [▲ ▼] ボタンで操作したいアプリケーションのウィンドウをアクティブにしてください。(ランチャーを操作すると、ランチャーがアクティブになりますので、再度必要なアプリケーションのウィンドウをアクティブにする必要があります。)

マルチライブモードを終了するには

上記手順3でチェックの付いている位置を選択してクリックする。



お知らせ :

インデックススタイル中は、ステータス表示は緑色点灯のまま変わりません。また、他のパソコンは未使用のアイコン領域のみにパソコン画面を本機に転送することができます。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

ワンショット

パソコン画面に表示されているスナップショットがディスプレイに送信されます。

1 ランチャーのステータス表示で送信可能 (緑色点灯) であることを確認する

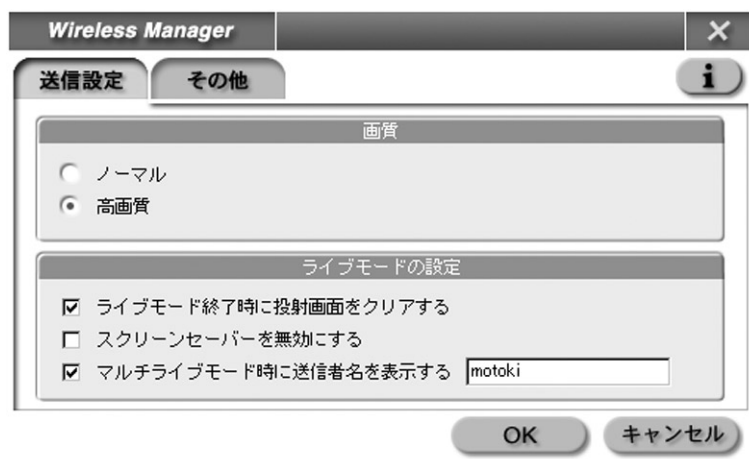
2 ランチャーの [] をクリックする

オプション

画像データ送信に関する設定を行います。

ランチャーの [] をクリックする

下の画面が表示されます。



画質の選択

パソコンからディスプレイに送信する画像の質を選択します。

[送信設定] をクリックする

[ノーマル] または [高画質] を選択する

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

ライブモードの設定

ライブモード / マルチライブモード時のパソコンの動作を設定します。

[送信設定] をクリックする

[ライブモード終了時に表示画面をクリアする] :

ライブモード終了時にディスプレイからの表示画面をクリアしたいときに設定します。通常は、ライブモード終了時の画像が表示されます。

[スクリーンセーバーを無効にする] :

Wireless Manager ME が動作中はパソコンのスクリーンセーバー機能を無効にします。ライブモード中にスクリーンセーバーを動作させたくないときに設定します。

ご注意 :

Windowsのスクリーンセーバー設定でパスワードによる保護が設定されている場合、ライブモードは強制終了し、最後に送信された画面表示の状態になります。

[マルチライブモード時に送信者名を表示する] :

送信している画面の右上に、入力されている文字 (最大8文字) が表示されます。

インデックス スタイル時は、アイコンの右側にも表示されます。(送信者名が入力されていない場合は、“No Name” と表示されます。)

ショートカットキーの設定

パソコンのキーボード操作で Wireless Manager ME の機能を制御するための設定をします。

[その他] をクリックする

[ライブモード] :

全面画面に移行します。

[マルチライブモード] :

マルチ画面に移行します。

[ワンショット] :

パソコンの全画面を送信します。

[Pauseキーでライブモードを停止する] :

ライブモード / マルチライブモードを停止します。

[PrintScreenキーでワンショットを実行する] :

パソコンの全画面を送信します。




お知らせ :

ライブモード / マルチライブモードのワンショットキーは、ライブを停止せずにモードを切替えます。

Wireless Manager ME を使用する (つづき)

接続時にパスワードが必要なときの操作

[] マークのあるボードを選択した場合は、右の画面が表示されます。
パスワードを入力し [OK] をクリックします。



お知らせ：

- ・パスワード入力画面で [キャンセル] をクリックすると、ランチャー（17ページ参照）に移行します。
- ・誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
[OK] をクリックしてパスワード入力画面に戻り正しく再入力してください。

接続先の追加と削除

接続先選択画面の [ネットワーク] が [USER] のときは、下記の操作で接続先の追加削除を行います。

接続先の追加

- 1 接続先選択画面で [指定] をクリックする
右の画面が表示されます。



- 2 [追加] をクリックし、追加したい接続先の IP アドレス（ピリオドも含む）を入力して [登録] をクリックする

手順1の画面の接続先リストに今登録した接続先が追加されます。



（表示のIPアドレス番号は、入力参考例であり、実際のものではありません）

接続先の削除

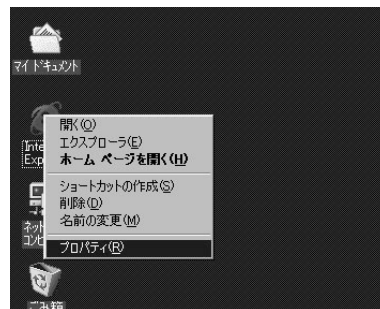
上記手順 1 の画面で削除したい接続先を選択して [削除] をクリックする。

WEBブラウザコントロールを使用する

パソコンの設定

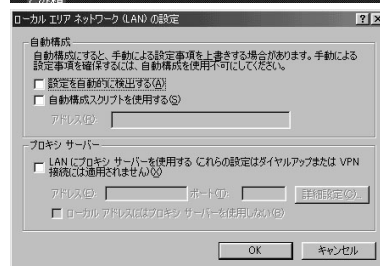
1 [Internet Explorer]アイコンを右クリックする

プロパティを開きます。



2 [接続] [LANの設定]を開き、「自動構成スクリプトを使用する」にチェックが入っている場合はそのチェックを外して、[OK]をクリックする

設定画面が閉じられます。



お知らせ：


- ・プロキシサーバをすでに使用している場合、ネットワーク番号が1～4のときは自動的に設定されます。(ただし、Internet Explorer Ver.6.0以上)
- ・上記以外の場合は [詳細設定] のなかで、プロキシサーバーを使用しない例外として、接続する本機のIPアドレスを設定する必要があります。

3 [セキュリティ]で、セキュリティのレベルを[規定のレベル]にする または[レベルのカスタマイズ]から[アクティブスクリプト]を有効にする

お知らせ：

Netscapeの場合は、[編集] [設定] [詳細]で、JavaScriptを有効にしてください。

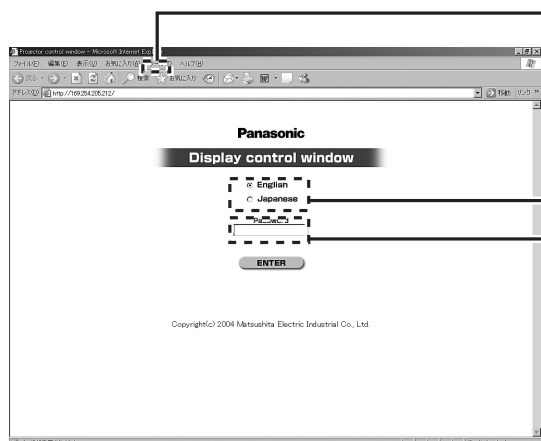
WEBブラウザコントロールの起動

ランチャー (17ページ参照) の [] をクリックする

(ここではMicrosoft社Internet Explorerを例に説明しています。)

Webブラウザコントロールが起動します。

トップ画面



プロキシサーバーを使用しないように設定する(プロキシサーバーを使用する場合は、上記パソコンの設定をご覧ください。)

日本語/英語を選択する。
パスワードを設定しているときはパスワードを入力する。

お知らせ：

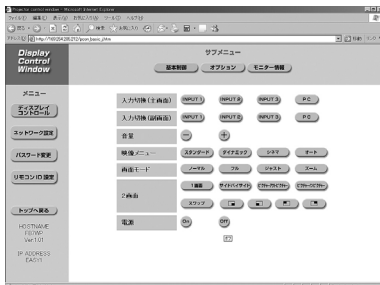
- ・パスワードを忘れてしまったときは、ボードの初期設定を行ってください。(29ページ参照)
- ・ブラウザ閲覧ソフトによってはトップ画面が表示されない場合があります。再度WEBブラウザコントロールを起動するか、[CTRL] + [R] キーを押してください。

WEBブラウザコントロールを使用する (つづき)

ディスプレイコントロール

メニューの [ディスプレイコントロール] をクリックする。
ボードならびにディスプレイの各種設定を行うことができます。

基本制御画面



お知らせ：

- 電源オン直後は、本機と接続できない場合があります。そのときは時間を少しおいて、再度接続してください。

オプション制御画面



モニター情報画面



お知らせ：

モニター情報は、一定の間隔(30秒)で更新されますが、[表示] [最新の情報に更新] またはPCのファンクションキー (F5) を押すと、現在の正確な情報を確認することができます。

パスワード変更画面

サブメニュー画面上で
WEB: WEBブラウザコントロール WM: ワイヤレスマネージャー
へのログインパスワードを設定・解除します。



リモコンID設定画面

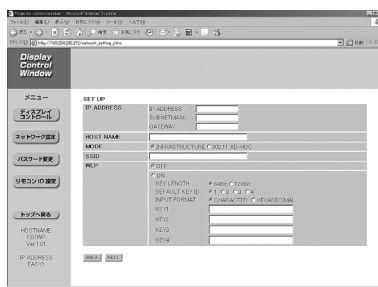
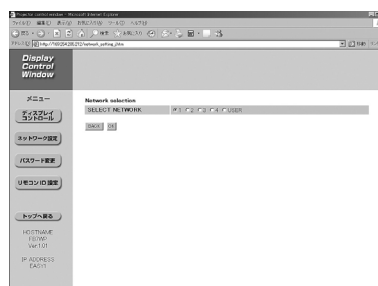
ディスプレイを複数台使用するシステム時に、ボードのリモコンIDを設定します。

本機能を有効にするには、リモコンの設定も必要です。(7ページ参照) 初期値は00。(リモコンIDオールボタンに相当します)



ネットワーク設定画面

ネットワーク番号の変更ならびにUSER接続を行う
必要なデータを入力する。



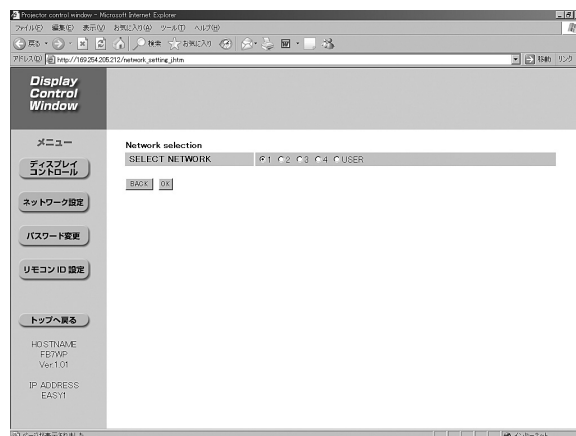
初期設定を変更する

お買い上げ時の設定を変更して、パソコンと本機をワイヤレス接続する場合は、以下の設定を行います。

ネットワーク番号を変更する

パソコンの操作

WEBブラウザコントロールの[ネットワーク設定] [NEXT] をクリックし、ネットワークグループを選択し、[OK] をクリックする。



パソコンの設定

14ページの手順1～3 を実行後、次の操作をします。

ネットワーク番号リストからネットワークグループを選択する

お知らせ：


- ・ Windows Me/98SE では、ネットワーク番号は [1] または [USER] のみの選択となります。
- ・ [USER] は、パソコンのネットワーク設定を手動で行って本機と接続する場合に使用します。(26 ~ 28 ページ参照)



ワイヤレスユーザー接続

以下の操作を行う前に、ディスプレイとパソコンの接続をしておいてください。(14 ページ参照)

パソコンの操作

(1) ランチャー (17 ページ参照) の [] をクリックする

(2) WEBブラウザコントロール でボードの設定を変更する

SSID、通信モード、IPアドレス、サブネットマスク、WEP を設定し、WEBブラウザコントロールを終了します。

お知らせ：

ユーザー設定にした場合は、本機のネットワーク番号を [USER] に切り替えるまで接続先リストに表示されません。

初期設定を変更する (つづき)

パソコンの設定 (TCP/IPの設定)

Windows XP/2000の場合：

画面は、Windows XPの例です。

- (1) [マイネットワーク] を右クリックし、プロパティを開く。



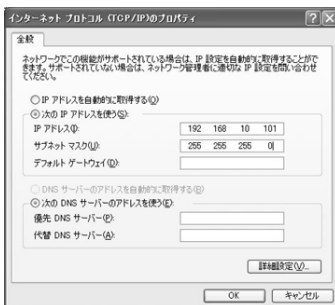
- (2) [Panasonic Wireless LAN PC Card] を右クリックし、プロパティを開く。



- (3) インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択し、[プロパティ] をクリックする。



- (4) 本機で設定したIPアドレスと同じセグメントのIPアドレスを入力する。



(上画面に表示のアドレス番号は、入力参考例であり、実際のものではありません)

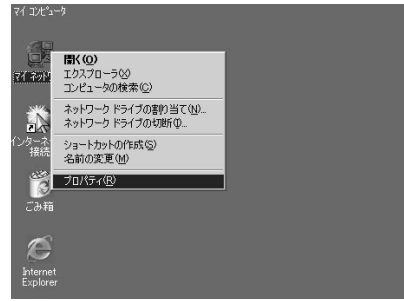
- (5) 本機で設定したサブネットマスクと同じ値を入力し、ゲートウェイを設定した後 (インフラストラクチャモードのみ) [OK] をクリックして前画面に戻る。

- (6) [OK] をクリックする
再起動せずにそのまま使用できます。

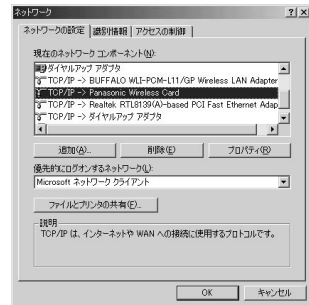
Windows Me/98SEの場合：

画面は、Windows Meの例です。

- (1) [マイネットワーク] を右クリックし、プロパティを開く。



- (2) [Panasonic Wireless LAN PC Card] を選択し、[プロパティ] をクリックする。



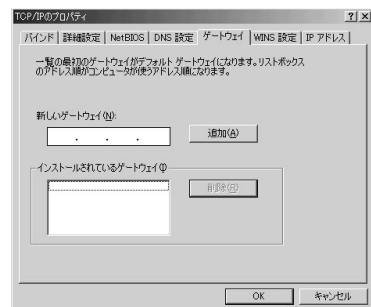
- (3) 本機で設定したIPアドレスと同じセグメントのIPアドレスを入力する。

- (4) 本機で設定したサブネットマスクと同じ値を入力する。

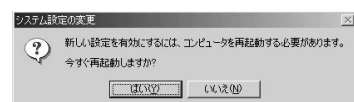


- (5) ゲートウェイを設定し (インフラストラクチャモードのみ) [OK] をクリックして前画面に戻る。

- (6) [OK] をクリックする。



- (7) [はい] をクリックする。



初期設定を変更する (つづき)

パソコンの設定 (ワイヤレスカードの設定)

Windows XPの場合：

専用のユーティリティソフトは不要です。詳細はWindows XPのマニュアルをご覧ください。

- (1) [スタート] [接続] [すべての接続を表示] [ワイヤレスネットワーク接続] を選択する。
- (2) [Panasonic Wireless LAN PC Card] アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択する。
ワイヤレスネットワーク接続画面が表示されます。
- (3) [利用できるワイヤレスネットワーク] の一覧から本機の SSIDを選択し、[接続] をクリックする。(表示されない場合は、画面の指示に従って設定する。)

お知らせ：

- ・本機にて暗号化 (WEP設定) が設定されている場合は、[接続] をクリックする前に [ネットワークキー] に WEPキー (文字入力) の情報を入力してください。(工場出荷設定はWEPなし)
- ・ネットワークの詳細設定を確認したいときは、ネットワーク接続画面で [ワイヤレスネットワーク設定] アイコンをクリックしてください。

Windows 2000/Me/98SE の場合：

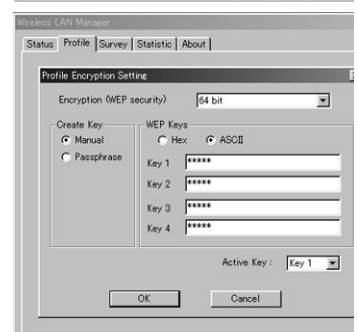
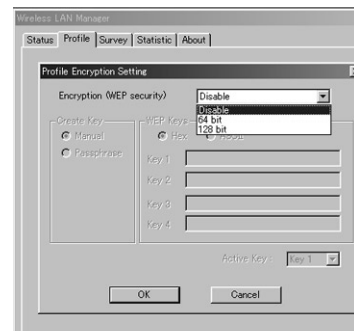
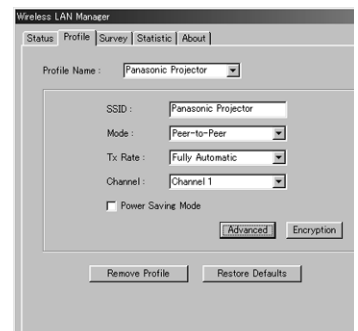
お願い：

簡単接続中はユーティリティソフトを使用しないでください。本機との接続で問題が発生する場合があります。

- (1) パソコン右下の常駐アイコンをダブルクリックすると、ユーティリティソフトが起動されます。



- (2) [Profile] をクリックする。
- (3) ネットワークの設定名を入力し、接続したい本機のSSIDを入力する。
- (4) 接続したい本機の通信モードを選択し、通信速度 (Tx Rate) は [Full Automatic] を選択する。
チャンネル (Channel) はデフォルトのままにしておいてください。
- (5) 本機にて暗号化 (WEP) が設定されている場合は、暗号設定 (Encryption) をクリックする。
- (6) 本機に設定されている暗号キー長を選択し、WEPキーを入力する。



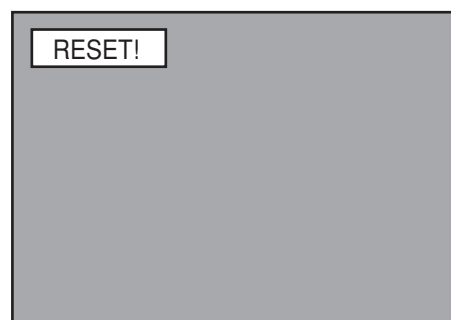
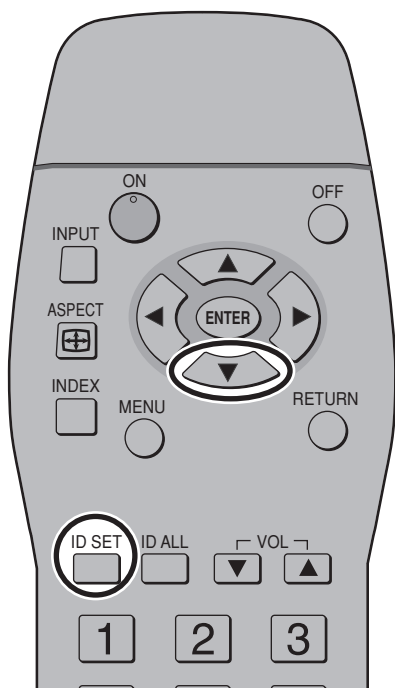
初期設定に戻す

変更した設定を初期化することができます。(ワイヤレスマネージャーは終了しておいてください)

ボードへの操作

1 リモコンの  キーを1回押す

2 続いて  キーを3回押す
画面左上にRESET!が表示されます。



パソコンの操作

Wireless Manager ME を起動し、ネットワーク番号を[1] に設定する

(26ページ参照)

お知らせ：

- ・通信モードは、アドホックモードには対応していません。802.11 アドホック (Peer to Peer) かインフラ (Access Point) を選択します。
- ・別売品「TW-CDWL3」を除く他のカードには、アドホックモードのみにしか対応していないものがあります。このようなカードは使用できません。
- ・暗号化 (WEP) 設定をするときは、[Disable] から 64 bits/128 bitsを選択します。使用しないときは [Disable] にします。
- ・WEPの入力は文字入力 (ASC II) か16進入力 (Hex) を選択できます。
文字入力：64 bits では5文字、128 bits では13文字
16進入力：0-9、A-Fでそれぞれ10文字、26文字
- ・WEPキーは本機側の設定に合わせてください。
そして、キー (Active Key) はデフォルトの1のままにしてください。

用語の説明

802.11 AdHoc (Peer to Peer) モード

本機とワイヤレスLAN内蔵パソコン、またはワイヤレスLANカードを取り付けたパソコンで直接通信するモードです。SSID の設定が必要です。

アクセスポイント

ワイヤードLANとワイヤレスLANとをつなぐ無線基地局。

アドホック (AdHoc) モード

本機とワイヤレスLAN内蔵パソコンまたはワイヤレスLANカードを取り付けたパソコンとの間で、直接、通信するモードです。本機とパソコンでチャンネルを共通に設定する必要があります。このモードに対応していないカードもあります。

チャンネル

通信時に同じ周波数帯を利用した複数のアクセスポイントを近くに設置すると、お互いの電波が干渉して通信速度が落ちる場合があります。ワイヤレスLANではこれを少なくするため、周波数帯を14のチャンネルに分けて通信を行うことができます。(使用される国によってチャンネル数は異なります。)ただし、隣り合うチャンネルは干渉があるため、通常運用の際には2、3チャンネル離して設定します。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振る機能。DHCPサーバーの機能を持った機器がLAN内にあれば接続されている機器に自動的にIPアドレスを割り振ります。本機側では対応していません。

ゲートウェイ (Gateway)

異種のネットワークを接続する中継点のことをいいます。

使用しているネットワークの規格と異なったネットワークなどに接続する場合などに使われるハードやソフトのことをいいます。双方のネットワーク間のプロトコルの違いなどを調整して、他のネットワークとの接続を可能にします。

インフラストラクチャ (Infrastructure) モード

ワイヤードLANに接続したアクセスポイントを介して通信を行うモードです。

ワイヤレスLANカードを取り付けていないパソコンでもアクセスポイントを介して本機に画像を転送することができます。

IPアドレス

IP (Internet Protocol) は、データを配送するためのプロトコルで、データを配送する先にあたるアドレスのことをIPアドレスといえます。同一LAN内で同じIPアドレスを使用することはできません。

LAN

Local Area Networkの略。会社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。ワイヤードLANとワイヤレスLANがあります。

SSID

Service Set IDの略。アクセスポイントを利用するワイヤレスLANでは、そのLANに含まれる機器とそうでない機器を区別するためにSSIDの識別コードを設定する必要があります。

一部メーカーのワイヤレスLANカードによっては、「ESSID」や「ネットワーク名」などと表示されている場合もあります。

サブネットマスク (Subnet Mask)

TCP/IP接続時には、ネットワークをいくつかに分けるため、パソコンに割り当てるIPアドレスの範囲を限定します。このときにネットワークを区切るための数値をサブネットマスクといえます。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットの標準プロトコル。

プロトコルとはパソコン同士がデータ通信する際の規約、約束のことをいいます。

WEP

Wired Equivalent Privacyの略。通信するデータを暗号化する方式です。暗号キーを作成して通信する利用者だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">・ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。([Fn] + [F3] ボタンを同時に押し、外部出力の設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種により異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)
パソコンがワイヤレスカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none">・ワイヤレスカードが、パソコンのPCカードスロットの奥まで確実に差し込まれていますか。・ドライバがインストールされていますか。・ワイヤレスカード挿入前にドライバをインストールしましたか。・IRQ (割り込み信号) 番号が不足していませんか。(Windowsのオンラインヘルプをご覧ください。)
転送速度が遅くなった	<ul style="list-style-type: none">・使用環境 (場所、電波状況、距離など) によっては、遅くなることがあります。・WEPの設定を行うと、画像データを変換するため、転送時間がかかります。
ライブモード時画像表示が遅い	<ul style="list-style-type: none">・パソコンCPU の速度が遅くないですか。・ライブモードはパソコンCPU性能に大きく依存します。・Windows XP/2000 の場合は、Administrator 権限がないと速度が著しく低下することがあります。
Wireless Manager ME の接続先リストの中に本機が見つからない	<ul style="list-style-type: none">・パソコンと本機との間が離れすぎていないか、障害物があるため電波状態が悪くないか確認してください。・IPアドレスやサブネットマスクが正しく設定されているかを確認してください。・パソコンにTCP/IPがインストールされていますか。・WEPの設定が本機と合っていますか。オプション以外のワイヤレスカードを使用している場合やアクセスポイントを使用している場合にWEP機能を設定していると本機と通信できません。WEP機能を解除してください。・[インフラストラクチャ (Infrastructure)] モードの場合、本機とパソコンは、使用するアクセスポイント [SSID] と同じ設定にしてください。[SSID] では、半角の英数記号 (大文字、小文字の区別あり) が使えます。また、アクセスポイントに通信できるパソコンを制御する機能を使用していないか確認してください。・[802.11 アドホック (Peer to Peer)] モードの場合、本機とパソコンのSSIDは同じ設定にしてください。大文字、小文字の区別もあります。・ワイヤレスカード以外のネットワークデバイスが有効になっていませんか。Windowsのデバイスマネージャーで確認してください。・プロキシクライアントソフトウェアが動作していませんか。本機を通信するときは、無効にしてください。・パーソナルファイアウォール機能がついたセキュリティソフトウェアが動作していませんか。本機で通信するときは、ソフトウェアを終了させるか、除外設定を行ってください。
Wireless Manager ME の色表示がおかしく、文字が読みづらい	<ul style="list-style-type: none">・デスクトップの何も無いところを右クリックし、[プロパティ] を選択してください。さらに、[画面のプロパティ] 画面の「設定」タブを開き、[画面の色] を [16ビット] 以上に設定してください。

商標について

- ・Windowsは、米国 Microsoft Corporation (マイクロソフト社) の米国およびその他の国の商標または登録商標です。
- ・その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では®やTMマークは明記していません。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は.....
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間

お買い上げ日から本機は1年間。

修理を依頼される時

31ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ、調べていただきます。直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、ワイヤレスプレゼンテーションボードの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容

ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名・品 番 お 買 い 上 げ 日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪 問 ご 希 望 日	

ご注意

- ・本製品のソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ・本製品のソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品のソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

松下電器産業株式会社

映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 ☎(06) 6905-5574

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

M1104S0